

# 建築人

2023

6

Osaka Association of Architects & Building Engineers  
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.708





# 建築人

2023.06 No.708

Osaka Association of Architects & Building Engineers  
Newsletter "Kenchiku-Jin"

表紙の建築 「NUDE HOUSE prototype」2015年

第15回 建築人賞 建築人賞 受賞作品

設計：松下建築設計 一級建築士事務所／松下一樹

施工：尾上工務店

撮影：多田ユウコ

床壁天井の中と電気水道ガスの配線配管が丸見えの裸の家。それは震災後や経年変化や耐震改修等に最小限の費用で誰もが簡単に更新できる家が必要と考えたからである。一般の人が経済的に手間なく更新して持続していくことを実現する完成しない成長する家である。

2 大阪こちエエ

4 Gallery 建築作品紹介

「ヤマウチ枚方新主工場棟」

設計：竹中工務店

施工：竹中工務店

「大阪市立伝法幼稚園」

設計：大阪市都市整備局、昭和設計

施工：生川建設、伊藤電気、麻生、

日本エレベーター製造、大阪ガスネットワーク

「角地の家」

設計：石橋清志建築設計事務所

施工：藤木工務店

8 第66回大阪建築コンクール入賞発表

12 動静レポート

13 Topics

14 Information

16 Close-up Osaka

18 記憶の建築

「神奈川県立図書館・音楽堂」1954年

整備が進む紅葉ヶ丘を再訪して / 松隈 洋

## 大阪こちエエ

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

令和5年5月8日に、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症に引き下げられ、日常における感染症対策の制限はなくなり自主対応となった。

自粛ムードも緩和され、端午の節句を迎えた大阪府富田林市の石川河川敷に3年ぶりに鯉のぼりの群れが帰ってきた。今回はようやく日常が戻ってきたこの季節の風物詩を紹介したい。

全国で鯉のぼりが泳ぐ姿の元祖は高知県の四万十川で1974年から始まったと言われている。1984年に「石川の自然を守る会」がこの富田林の石川で始めて、現在は「こいのぼり夢の会」が継承し続けている。

地域住民の手で立ち上げた団体で、全国から寄附いただいた鯉のぼりは約400匹に及び、ボランティアメンバー凡そ100名や協力団体の支援によって、この河川敷を舞台に悠々と泳ぐことが出来ている。

近年は、自治会参加者の減少や、少子化の影響でもそも対象である子どもの数が減ってしまい、子ども祭りなども縮小傾向がみられる。後世に素晴らしいこの風景を大切に引き継いで残していただきたい。

建築人 No.708 2023年6月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報委員会

編集 建築情報委員会『建築人』編集部

部門長：田鍋 稔

委員長：松下典央（編集人代表）

編集人：石上芳弘 梅田武宏 荻窪伸彦 笠井志保  
河合哲夫 大松俊祐 橋本頼幸 北條豊和  
牧野隆義 三谷勝章 武藤優哉 村上栄司  
茂籠一之 山本恭史

事務局：隅原正太 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

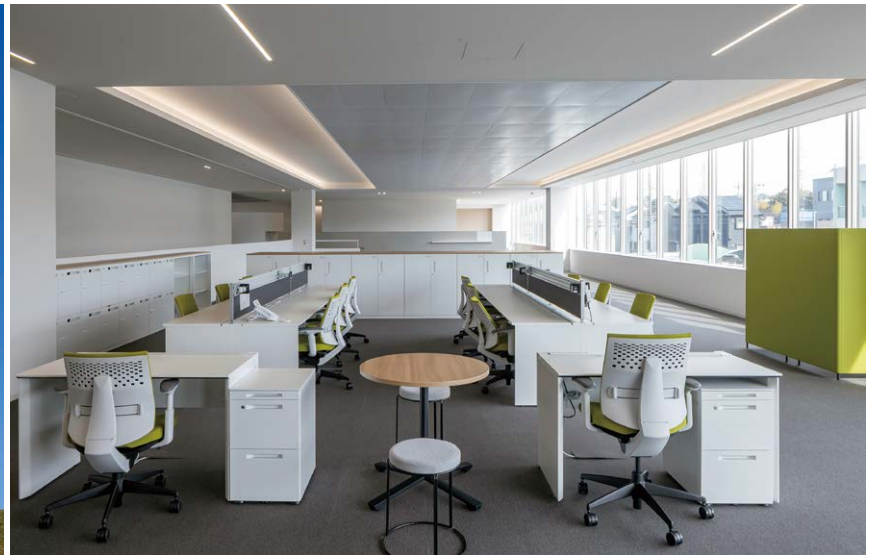
令和5年6月1日発行

発行人：会長／岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961



大阪府枚方市に立つ工場の建替プロジェクトである。敷地内の高低差を生かして、既存社屋と新工場をブリッジでつなぐことで、日常動線・来客動線に回遊性を持たせ、施設全体の利便性を高めた。内部は可変性・生産性の高いクリーンルームを中心に据え、その周囲にサポート機能を配置した。個々のスペースが必要な機能を確保しつつ、緩やかに連続して一体感をもつよう計画し、働く従業員の方々や訪れた見学者が館内で気持ちよく過ごせる空間づくりを目指した。また太陽光発電や輻射冷暖房空調など環境に配慮した様々な技術の採用により、快適性の確保と共に省エネ性能の高い施設となっている。

(大平卓磨)

所在地：大阪府枚方市  
用途：工場  
竣工：2023.01  
構造規模：鉄骨造  
地上2階  
敷地面積：17,038.56㎡  
建築面積：4,340.31㎡  
延床面積：5,022.40㎡  
写真：古川泰造



阪神なんば線橋梁工事の影響で建て替えることになった公立幼稚園。線路予定地や都市計画道路により敷地は30%程小さくなるが、建築と外構に立体的な回遊性を持たせることで、遊び・学びが活発化される新幼稚園を目指した。2階に広いデッキスペースや植栽を設け、ネット遊具や屋外階段により、1階のデッキや園庭とつなぐことで、内と外、上と下の回遊性のある空間を計画した。また、園舎にはデン（隠家のような小空間）やアルコーブ、園庭には70種類以上の植物や総合遊具等を設け、多様な遊びや学びの場を豊富に用意した。新園舎は先生方の様々な工夫や催しに活用され、子どもたちの笑顔が絶えない。

所在地：大阪府大阪市  
用途：幼稚園  
竣工：2023.03  
構造規模：RC造  
地上2階  
敷地面積：4,764.27㎡  
建築面積：1,052.48㎡  
延床面積：1,511.23㎡  
写真：加納フォト



この住宅は、甲陽園の麓の閑静な住宅が立ち並ぶ角地に位置する。L字型の建物と道路に沿って連立した4mのガラスの塀は、中庭を囲むように配置されている。居住空間は全て中庭に対し開放しており、季節や天候・時間により移り行く豊かな表情を享受できる他、アウトドアリビングとの一体感も相まって視覚的により大きな広がりをもつ空間となっている。また、交互にずらしたプロフィルガラスを採用することにより、プライバシーを守りながらも光と風に満ちた開放感を中庭に与えている。屋根全体を浮かしサイドトップライトを採用することにより、採光を確保しながら町並みの景観にも十分配慮した住宅となっている。

所在地：兵庫県西宮市  
 用途：一戸建て住宅  
 竣工：2022.12  
 構造規模：RC造  
 （一部S造）  
 地上2階  
 敷地面積：540.31㎡  
 建築面積：216.04㎡  
 延床面積：366.67㎡  
 写真：松村芳治

# 2023年 「建築人」作品募集



審査委員長 磯 達雄

1963年 埼玉県生まれ  
1988年 名古屋大学工学部建築学科卒業  
日経BP社入社「日経アーキテクチュア」編集部勤務(～1999年)  
2001年～ 桑沢デザイン研究所非常勤講師  
2002年 フリックスタジオ共同主宰(～2020年)  
2008年～ 武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科非常勤講師  
2020年～ Office Bunga共同主宰

## Gallery 掲載要項

### Galleryとは…

公益社団法人大阪府建築士会は、会誌『建築人』を会員サービスの一環として毎月発行しています。発行部数は約3,000部で会員のほか、官公庁、大学、図書館、出版社、報道機関等に頒布しています。この『建築人』では、毎号「Gallery」というコーナーを設けており、皆様の建築作品を掲載しております。皆様の作品を本誌へ掲載しませんか？

### 掲載作品は、同時に『建築人賞』候補に！ 『建築人賞』とは

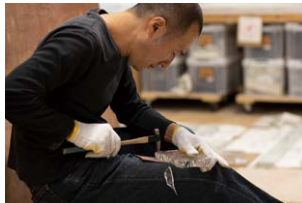
Gallery掲載作品は自動的に大阪府建築士会が毎年表彰している『建築人賞』の候補となります。(毎年1月号～12月号掲載作品)

『建築人賞』は、これまで15回を数える賞で、個人の審査委員長により選考します。2023年も昨年に引き続き、建築ジャーナリストの磯 達雄さんをお願いしています。

賞には、「建築人賞」「建築人賞新人賞」「建築人賞奨励賞」「建築人賞佳作」があり、建築主、設計者、施工者に賞状が贈られます。さらに「建築人賞」「建築人賞新人賞」の設計者の方には、記念品が授与されます。表彰は、5月に行われる建築士会の年次総会で表彰式を挙行しており、受賞される建築主、設計者、施工者の方に参加していただいております。



記念盾 グラスアーティスト 佐久間 靖 作 (左：建築人賞 右：建築人賞新人賞)



佐久間 靖

1971年 大阪府高槻市生まれ  
1996年 神戸学院大学 法学部 卒業  
1997年 株式会社 ロクレーブルプロダクションガラスアーティスト 三浦啓子氏に師事  
2016年 株式会社 Jiku Art Creation 作品制作に従事

### ■ 掲載費用

100,000円(1頁カラー)

\*①：初回割引 80,000円

(設計者および施工者が過去10年間、Galleryに掲載されていない場合)

\*②：若手初回割引 50,000円

(40歳以下で建築設計事務所を主宰されている方で\*①を満たす方)

### ■ 掲載概要

建築主、設計者、施工者、協力会社、  
所在地、用途、竣工年、構造規模、  
敷地面積、建築面積、延べ床面積

### ■ 掲載記事内容

写真4点程度  
説明文章：約300字程度

## ■大阪府知事賞部門 大阪府知事賞

### 奨励賞

藤田美術館  
 SPACESPAC HOUSE +ローリングタワー屋台  
 富田林の家  
 近畿大学6・7号館(ACADEMIC THEATER ANNEX THE GARAGE)  
 三宅町交流まちづくりセンター MiiMo

平井浩之  
 香川貴範・岸上純子  
 三谷勝章・柳室純・荻野寿也・荻野彰大  
 島山文聡  
 前田茂樹  
 木内菜津子

## ■渡辺節賞部門 渡辺節賞

外のない家

### 趣旨

建築士はその職責を通じて地域社会の発展に寄与し、建築美を通じて建築文化の向上、ひいては地域文化の振興にも寄与していく必要があり、その責務は重大である。

大阪建築コンクールは、建築士と社会とのかかわりを通じて建築作品を評価し、その優れた実績をたたえ、建築作品の設計者である大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の設計者を表彰する。同時に行う渡辺節賞については、新しい建築文化の原動力となる若い優れた設計者をたたえ、さらなる発展を望むものである。

### 募集範囲

2017年1月1日から2022年12月31日の間に竣工し、完了検査済証の交付を受けた建築物

\* 建築確認申請不要物件は完了検査済証不要

\* 竣工年月日は工事完了時

### ●大阪府知事賞部門

対象建築：建物の種類・規模は問わない

建築位置：近畿二府四県

応募資格：設計者が大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者

### ●渡辺節賞部門

対象建築：建物の種類・規模は問わない

建築位置：近畿二府四県

応募資格：設計者が大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者  
 完了検査済証発行日現在39歳以下

### 審査委員会

委員長 橋爪紳也 (大阪公立大学研究推進機構特別教授)

委員 植野甚一 (大阪府都市整備部住宅建築局公共建築室室長)

※50音順 荻原廣高 (神戸芸術工科大学准教授)

満田衛資 (京都工芸繊維大学教授)

山本麻子 (大阪工業大学特任准教授)

### 審査

応募数 大阪府知事賞部門29点

渡辺節賞部門7点

審査委員会4回

### ●第1次審査

3月9日 書類・図面、写真によって、大阪府知事賞部門8点、渡辺節賞部門2点を選考

### ●第2次審査

3月14日、3月20日 第1次審査通過作品について現地審査を2日間実施

### ●最終審査

3月20日 第2次審査終了後に実施  
 大阪府知事賞部門：大阪府知事賞2点、

大阪府知事賞部門：奨励賞3点、  
 渡辺節賞部門：渡辺節賞1点を選出

### 表彰式

日程 令和5年5月17日(水)

本会定時総会式典席上

会場 KKR ホテル大阪

### 審査経過並びに総評



審査委員長  
橋爪紳也

審査委員長を拝命した。総評を記す前に、審査にあたるうえでの所信を表明しておきたい。

私はかねて「大阪の建築界」の独自性を再評価し、再構築し、社会にそして世界に広く訴求することの必要性を強調してきた。近代以降、少なくとも戦後高度経済成長期までは、大阪に事務所を開き、関西各地に多くの作品を実現させて活躍

した建築家たちが多くあった。彼らはみずから立ち上げた各種の組織を媒介として、建築設計の専門家としてさまざまな問題提起を行っていた。

戦後であっても、大阪には独自の建築文化があった。たとえばちょうど60年前、『新建築』昭和38年2月号は、「大阪の建築と建築家」の特集を編んでいる。そこであって浦辺鎮太郎は「大阪はもっとも都会らしい都会」だと評した浜口隆一の言葉を踏まえつつ、ここには「地方建築家」はいないと述べる。大阪を拠点に活躍する建築家たちは、独自の都市文化を認識しているということだろう。そのうえで適当な広さ、適度な人口、そして一定の富力を持つ大阪では、建築家も公共精神を持ち、建築とともに建築家も健全に育ったと評価をしている。

いっぽうで村松貞次郎は、施主の注文に応じて作品をものにしつつ、大阪では他人の評価をしない「大人の建築家」が活躍していると断じ、そこに町人の街の伝統を、さらには市民社会に根を下ろした安定感を見出している。村松は、大阪を理想に近い「建築家の社会」と一定の評価をしつつも、いっぽうで斬新なアイデアや提案には乏しいという面があるという自身の見解を示した。

では現時点にあって「大阪の建築界」の個性は、どのように語られるのだろうか。「大阪の建築家」が文化や社会の向上に貢献する際、地域に根ざしたユニークな方法論を共有しているのだろうか。またその将来を担う若い才能は、何を志向しているのだろうか。大阪に在住もしくは勤務する建築士を顕彰する「大阪建



築コンクール」の審査に携わることで、「大阪の建築家」の現在を把握するとともに、「大阪の建築界」の針路についての考えを深めてゆきたいと思う。

さて本年度の審査の経過について述べておきたい。今年は大阪府知事賞部門に29点、渡辺節賞部門に7点の応募があった。まず書類による1次審査を実施、投票で多くの票を集めた上位作品および個別の委員から強い希望があった10作品を実査の対象とした。そのうえで現地を訪問し設計者や施主から説明を受け、質疑応答を行った。

最終審査は大阪府建築士会の事務所で行った。多くの審査委員から優れた作品であると支持を得た作品から、全員の合意を得て2作品を「大阪府知事賞」、1作品を「渡辺節賞」とすることになった。また知事賞を贈るには全員の一致を見なかったが、複数の委員から強く推す意見があった3作品について、審査委員長の判断によって奨励賞を贈ることとした。

個別の評価については別掲の審査評を参照していただければと思う。大阪府知

事賞に選定された2作品についてのみ印象を記しておきたい。アプローチは異なるが、2作品のいずれも土地の履歴や周辺の環境を読み込んだうえで、地域の文化に根ざした優れて新しい建築を試みる意欲を強く感じることができた。設計者の熱意と総意工夫に敬意を表したい。

審査を通じて、歴史ある建築関連の賞としては応募作品があまりにも少ない点は課題であると感じた。「大阪建築コンクール」は、その職責を通じて地域社会の発展に貢献し、建築文化の向上に寄与する建築士を讃える表彰制度である。作品を媒介としているが、表彰者個人に贈る点において、他の建築関連の賞とは趣旨が異なる。本顕彰制度の社会的意義を改めて確認し、リブランディングを行い、より多くの志の高い設計者が応募するように社会的意義を高めることが求められる。

また審査にのぞむなかで、初期の入賞作品のなかに、すでに解体された作品が散見されることに気がついた。第1回から66年が経過しているのだから多くの

受賞作品が建て替えの時期にあることは理解されるが、賞を受けた建物が壊されるにあたって、公益社団法人大阪建築士会から、なんらかのメッセージを当時の設計者や施主に投げかけることがあるとは聞かない。私自身、初年度の受賞作である岸和田市庁舎建て替えの検討について参加した経験もあり、気になったところだ。

「大阪建築コンクール」は建築ではなく、建築を介して建築士を表彰する制度なので、その趣旨を鑑みると、いかに優れた建物であっても受賞した建物そのものの保存を訴求するといった活動の必然性はないように思う。ただ建て替えに際しては、先行する作品を凌ぐ優れた建築とすることを求めることがあって良いのではないかと。いっぽうで設計図書や映像などの記録保存を要望することもあって良い。大阪さらには関西独自の建築文化を再認識するうえで、優れた建築士が関わった優れた建築物のアーカイブ化には多様なアプローチがあって良い。

## ■大阪府知事賞部門 大阪府知事賞 藤田美術館

設計者 平井浩之 (大成建設株式会社 関西支店 設計部)



建築位置／大阪市都島区  
建物用途／美術館  
建築主／公益財団法人 藤田美術館  
施工者／大成建設株式会社

竣工年月／2020年8月  
構造／RC造・S造  
階数／地上2階・地下1階  
敷地面積／3,305.98㎡

建築面積／2,171.63㎡  
延床面積／4,214.36㎡

撮影 Akira Ito・aifoto



平井浩之  
1964年10月生まれ  
1985年4月 京都大学  
工学部建築学科入学  
1988年3月 〃 卒業  
1988年4月 大成建設  
株式会社本社設計本  
部入社

1990年4月 大成建設株式会社関西支店設計部  
2005年12月 大成建設株式会社本社設計本部  
2012年10月 大成建設株式会社関西支店  
設計部 グループリーダー  
2021年8月 大成建設株式会社設計本部 エグ  
ゼクティブフェロー 副本部長兼  
関西支店設計部長 現在に至る

[主な建築作品と受賞歴]  
2008年 羽島湖高原レジーナの森:グッドデザ  
イン賞  
2010年 仙台トラストタワー:仙台デザイン  
ウィーク大賞  
2011年 エーザイ本社ナレッジセンター:日経  
ニューオフィス賞  
2017年 梅小路鉄道博物館:鉄道建築賞大賞  
2022年 藤田美術館:第20回照明デザイン賞  
最優秀賞  
2022年 藤田美術館:日本空間デザイン賞2022  
博物館・文化空間部門 金賞

〈審査講評〉大阪財界の重鎮であった藤田傳三郎ゆかりの美術館を建て替えたもの。外部に開く大庇の下部空間と閉鎖的な展示室とを明確に区分しつつ、双方を繋ぐ装置として収蔵品を守り続けてきた蔵の扉を象徴として再利用している点が印象的である。ディスプレイの什器など展示空間の創意工夫も評価したい。隣地の市営公園とのあいだの塀を撤去、網島御殿と呼ばれた屋敷地を回想させるランドスケープが優れている。建屋の白さが際立つ夜景も演出も美しい。施主との話し合いを重ね、大阪の文化を継承する美術館の役割を發揮させるべく、従来にない造形を創出した設計者の意欲は知事賞に値する。(審査委員長 橋爪紳也)

## ■大阪府知事賞部門 大阪府知事賞 SPACSPACE HOUSE + ローリングタワー屋台

設計者 香川貴範 + 岸上純子 (SPACSPACE 一級建築士事務所)



香川貴範  
1974年6月生まれ  
1994年4月 東京工業大学工学部建築学科入学  
1998年3月 // 卒業  
2000年3月 東京工業大学大学院修士課程修了  
2000年4月 株式会社坂倉建築研究所入社  
2006年11月 株式会社坂倉建築研究所退社 SPACSPACE 一級建築士事務所開設 現在に至る



岸上純子  
1979年5月生まれ  
2000年4月 関西大学工学部建築学科入学  
2004年3月 // 卒業  
2006年3月 神戸大学大学院修士課程修了  
2006年4月 株式会社坂倉建築研究所入社  
2010年3月 株式会社坂倉建築研究所退社 SPACSPACE一級建築士事務所参加 現在に至る

### 〔主な建築作品と受賞歴〕

2012年 第58回大阪建築コンクール 渡辺節賞/Dアパートメント  
2013年 日本建築士会連合会賞 奨励賞/地面と屋根上の家  
2017年 第18回宇都宮市まちなみ景観賞/君岡鉄工宇都宮工場  
2019年 平成31年日本建築士会連合会賞 奨励賞/SPACSPACE HOUSE  
2019年 日本空間デザイン賞 銀賞/SPACSPACE HOUSE  
2020年 日本建築学会 作品選集2020/SPACSPACE HOUSE

建築位置/大阪市北区  
建物用途/事務所兼住宅  
建築主/香川貴範+岸上純子  
施工者/super architects  
竣工年月/2018年2月  
構造/木造

階数/地上2階  
敷地面積/80.99㎡  
建築面積/60.61㎡  
延床面積/114.86㎡

撮影 鳥村鋼一

〈審査講評〉小さな長屋の改装だが、ここで設計者が行ったのは古い建物を蘇らせただけでなく、中津の寂れた商店街という場所を選び、職住一体型住居という古くて新しい住様式に現代的な空間を与えることであった。1階の設計事務所の活動がショーウィンドウのように作り直されたファサードによって街に活気を与え、2階の家族の場がガジェットと呼ばれる装置によって生き生きと住みこなされる。都市から街路、建物そして家具に至るまできめ細やかな設計者の意図が通底した意欲的な作品である。

(審査委員 山本麻子)



## ■渡辺節賞部門 渡辺節賞 外的ない家

設計者 木内菜津子 (一級建築士事務所 nua)



木内菜津子  
1986年8月生まれ  
2005年4月 京都工芸繊維大学工芸学部造形工学科入学  
2009年3月 // 卒業  
2009年4月 大阪市立大学大学院生活科学研究科生活科学専攻前期博士課程入学  
2011年3月 // 修了

2011~16年 arte空間研究所 勤務を経て  
2017年 nua設立

### 〔主な建築作品と受賞歴〕

2023年 火の山屋外展望デッキ設計競技 優秀賞  
2023年 戒橋公衆トイレデザイン・建築設計公募型コンペティション ファイナリスト  
2023年 Bauwelt Award 2023 The 14 additional shortlisted projects  
2022年 KMEW DESIGN AWARD 2022 近畿エリア優秀賞  
2020年 立田山憩の森・お祭り広場公衆トイレ公開設計競技 選外佳作

建築位置/奈良市  
建物用途/戸建住宅  
建築主/本木昌裕  
施工者/株式会社岩鶴工務店  
竣工年月/2022年2月  
構造/木造  
階数/地上2階  
敷地面積/271.18㎡  
建築面積/138.12㎡  
延床面積/250.25㎡  
撮影 小川重雄

〈審査講評〉隣接建物との関係や周辺環境の将来変化、鹿の侵入抑制まで考えて配置されたボリュームに、地域に開かれたフリースペースでのにぎわいが透けて浮かび上がる。また、通り庭のようなスロープを通じ奥へと促されると、季節や時間の移ろいを演出する壁面の自然光とともに、屋外から屋内、パブリックからプライベートへつながる連続性と領域性の交差が心地よい。この屋内外を通じた巧みな空間操作について、特に高く評価された。

(審査委員 荻原廣高)

## ■大阪府知事賞部門 奨励賞 富田林の家

設計者 三谷勝章、柳室純（柳室純構造設計）、荻野寿也・荻野彰大（荻野景観設計株式会社）



三谷勝章  
1977年7月生まれ／神戸大学工学部建設学科卒業／2003年3月 神戸大学大学院自然科学研究科建設学専攻博士課程前期課程修了／2003年4月 株式会社大林組入社 [梅田クラブアトリ]2012年第46回SDA賞 / 「なんばSkyO」日本建築学会 作品選集2021・2022



荻野寿也  
1960年5月生まれ／1999年 第10回みどりの景観賞受賞以降、独学で造園を学ぶ／2006年 荻野寿也景観設計設立 2013年 長野県松本市景観賞受賞／2015年 「三井ガーデンホテル京都新町別邸」第25回日本建築美術工芸協会賞(AACA賞)優秀賞共同受賞



柳室 純  
1980年5月生まれ／2007年3月 京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了／2007年4月 満田衛資構造計画研究所／2015年4月 柳室純構造設計開設 [小浜志積プロジェクト]第32回(2021年度)北陸建築文化賞 / 「郭巨山会所」2023年日本建築学会賞(作品)



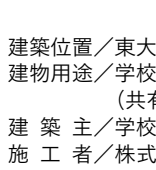
荻野彰大  
1987年8月生まれ／2006年 早稲田大学理工学部建築学科入学／2012年 同大学院建築学科修士課程修了／2012年 荻野景観設計株式会社入社 [ホテル ザ セレスティン 京都祇園 庭園] / 「大谷さやまこども園 庭園」/「ミツフジ福島工場 庭園」/「椎木デンタルクリニック 庭園」

建築位置／富田林市 施工者／いなせ建設株式会社 構造／RC造・S造・木造 建築面積／138.56㎡  
建物用途／戸建住宅 (造園)荻野景観設計株式会社 階数／地上1階・地下1階 延床面積／148.60㎡  
建築主／三谷勝章 竣工年月／2021年6月 敷地面積／451.81㎡ 撮影 鳥村鋼一

〈審査講評〉閑静な住宅街の地形勾配に沿いながら矩形に中庭を囲う住宅である。床の高さ、庇や壁位置を操作し外部からの視線と室内の光環境を巧みにコントロールしている他、構道家や造園家の優れた技量に助けられながらもそれに甘えることなく上品な一つの作品としてまとめ上げている点が評価された。一方で自邸というジャンルでありながら技量の発露に留まっている点で作家としてのメッセージ性が弱く、知事賞にまでは至らなかった。(審査委員 満田衛資)

## ■大阪府知事賞部門 奨励賞 近畿大学6・7号館 (ACADEMIC THEATER ANNEX THE GARAGE)

設計者 畠山文聡（株式会社NTTファシリティーズ）



畠山文聡  
1974年3月生まれ  
1996年3月 神戸大学工学部建築学科卒業  
1998年3月 同大学院修士課程修了  
1998年4月 株式会社NTTファシリティーズ入社  
現在、西日本事業本部ファンリテイソリューション部エンジニアリング部門建築設計担当 部長

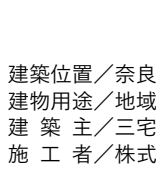
建築位置／東大阪市  
建物用途／学校 (共有棟・食堂・モノづくり)  
建築主／学校法人 近畿大学  
施工者／株式会社フジタ  
竣工年月／2019年8月  
構造／S造  
階数／地上4階・PH1階  
敷地面積／86,858.27㎡  
建築面積／3,586.46㎡  
延床面積／8,859.27㎡  
撮影 津田裕之 (エスエス)

〔主な建築作品と受賞歴〕  
近畿大学ACADEMIC THATER(1~5号館)・国際学部棟  
日本建築学会作品選奨 / 日本建築家協会優秀建築選 / 関西建築家大賞 / AACA大賞  
近畿大学6・7号館(ACADEMIC THEATER ANNEX THE GARAGE)  
日本建築学会作品選集 / 日本建築家協会優秀建築選  
健康保険組合六甲山荘 日事連建築賞・奨励賞  
クリニックかけはし  
公共建築賞・優秀賞 / 中部建築賞・優秀賞 / 日本建築家協会優秀建築選

〈審査講評〉本作品は、近畿大学の全学・産学連携のものづくりのプラットフォームとして整備された。フラットバーの組立柱を採用した途切れない大空間と、刻々と変化する自然のうつろいを室内に伝える工夫により、創造性を刺激する室内空間を創り出している。施設整備にあたり、設計者からの提案により設置された学生対象のワークショップにより、学生目線の意見を取り入れるなど、まさにものづくりを実践した作品である。(審査委員 植野基一)

## ■大阪府知事賞部門 奨励賞 三宅町交流まちづくりセンター MiiMo

設計者 前田茂樹（ジオ・グラフィック・デザイン・ラボ）



前田茂樹  
1974年1月生まれ  
1998年 大阪大学工学部建築工学科卒業  
2000年 東京芸術大学大学院美術研究科中途退学  
2000-2010年 ドミニク・ペロー建築設計事務所(仏)チーフアーキテクト  
2010年- ジオグラフィック・デザイン・ラボ 設立

建築位置／奈良県磯城郡  
建物用途／地域子育て支援拠点施設  
建築主／三宅町  
施工者／株式会社森組  
竣工年月／2021年3月  
構造／S造  
階数／地上3階  
敷地面積／1,542.28㎡  
建築面積／967.02㎡  
延床面積／1,881.56㎡  
撮影 Yohei Sasakura

〔主な建築作品と受賞歴〕  
●もんとパーク(2020年グッドデザイン賞受賞)  
●TAKARAZUKA HUTS(2020年日本建築家協会優秀建築選100作品選出)  
●高浜町6次産業施設UMIKARA(2021年グッドデザイン賞受賞 / 2022年日本建築美術工芸協会賞入選 / 2022年日本建築家協会優秀建築選100作品選出)  
●三宅町交流まちづくりセンター-MiiMo(場を生むデザイン賞受賞)  
●(仮称)おきのすいんパーク [徳島県立東部防災館] (awa臨港プロジェクト設計競技最優秀賞)

〈審査講評〉市役所とホールと小学校が集まる敷地での公民館の建て替えに学童保育、子育て支援機能といったこの町の老若男女が必要とする場所が集約された。にぎやかさと機能性が求められる複雑な内部環境を鮮やかに階ごとに切り分けながら、大階段で繋ぎ合わせた立体構成が見事である。一方で、おらかな庇が前面広場との繋がりをつくりながら、一階周辺での広場とのつながりが弱くなってしまったところに公共施設を開くことの難しさが感じられた。(審査委員 山本麻子)

# 動静レポート

## 会長動静

- 4/26 日本建築積算協会総会
- 4/27 正副会長会議
- 4/28 プレハブ建築協会関西支部総会
- 5/ 7 東京建築士会・中村勉元会長面談
- 5/12 正副会長会議、運営会議
- 5/15 大阪府収用委員会
- 5/16 正副会長会議
- 5/17 定時総会
- 5/18 日本建築材料協会総会
- 5/19 大阪府宅地建物取引業協会総会
- 5/22 日本建築材料協会会長面談  
全日本不動産協会大阪本部総会
- 5/23 大阪府建築士事務所協会総会
- 5/24 パナソニック訪問
- 5/25 元大阪府住まぢ部長面談

## 令和5年度定時総会の開催

5月17日に定時総会を開催し、総正会員数2,243名に対して1/3以上となる846名(うち委任状693名)の出席で定款第17条に照らして成立しました。

### ◇岡本森廣会長の挨拶



平素は本会の活動に対しまして、日頃のご支援助け協力を賜り心からお礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策が緩和される中、日常が戻ったとは言えない状況です。その中にある本会は公益社団法人として社会貢献活動に真摯に取り組んでおります。

府内43市町村の首長と面談し、建築専門家として行政が率いる各種委員会に委員派遣の協力を惜しまず行政支援を継続しております。

令和4年度は約600万円余りの赤字決算となり、主な要因としてコロナ禍での事業の延期や中止、参加を控えられた方々も多く、また法定講習等のオンライン化が進む反面、対面講習の縮小を余儀なくされた状況があります。

対策としては、本会活動や事務局体制でもデジタル化を推進し、組織体制も重要事案にポイントを置いたスリム化を図っております。社会情勢の激変に伴い、本会活動も必要な変革をよりよい方向に舵取りをし、「建築士会の会員なら頼れる」と社会から信頼される建築士会のブランド化を推進してまいります。

### ◇第1号議案(令和4年度事業報告)

令和4年度に実施した公益目的事業、収益事業、その他事業について、運営・研修・事業・建築表彰・建築情報・社会貢献(業務・地域)の常設部門別に報告し、承認されました。

### ◇第2号議案(令和4年度財務報告)

貸借対照表により、資産の部で流動資産と固定資産を合わせた資産合計は114,396,365円です。負債の部での合計は66,919,500円です。

正味財産合計は、前年度から△6,277,990円減少して、47,476,865円です。

正味財産増減計算書による経常収益計は134,142,969円、経常費用計は140,420,959円、当期経常増減額は△6,277,990円です。

令和4年度においては、コロナ禍による事業環境の悪化等による厳しい収支状況が続き、耐震診断の評価業務及び行政等からの委託業務の減少、更に建築士試験や定期講習等の事務委託費の削減も加わり経常収益が大きく減少しました。事務局職員の人件費の削減等により経常費用も大きく減少しているものの、経常収益の減少幅には及ばず、当期経常増減額はマイナス決算となりました。公益法人を満たす条件は3点です。1点目は経常費用計で合計額に対して、公益目的

事業小計が1/2以上になっていること、2点目は当期経常増減額で公1・公2・公3及び小計欄がマイナスであること、3点目は収1事業の収益と費用の差引利益額の一部を公益目的事業会計に振替えたあとの当期一般正味財産増減額において、公益目的事業会計の小計がマイナスになっていることです。

以上の条件3点がすべて満足されており、令和4年度の決算において、本会は公益社団法人としての基準を満足したことを報告し、承認されました。

### ◇第3号議案(令和5年度役員選任)

理事・監事候補者選考委員会から推薦され、理事会で承認された役員候補者で理事26名、監事2名が総会において選任され、令和5年度の役員構成は理事47名、監事2名となりました。

### ■表彰式

名誉正会員称号、荣誉・永年会員、CPD制度表彰の会員表彰と、第66回大阪建築コンクール、第15回建築人賞の建築作品表彰を行いました。

受賞作品の詳細は、大阪建築コンクールは本誌6月号、建築人賞は本誌7月号に掲載いたします。

### ■記念講演会



重松象平氏(建築家、OMAパートナー・OMAニューヨーク事務所代表、九州大学大学院人間環境学研究院教授、BeCATセンター長)を海外からオンラインによるご出演でお迎えし、「建築を越えて」というテーマで、既成概念を越えた環境芸術と職能の未来を感じることができるとご講演をいただきました。

## 大阪市高齢者住宅改修費給付事業審査業務について



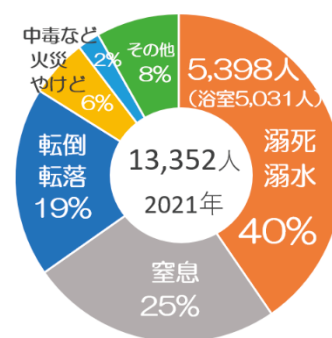
曾我部千鶴美(女性委員会)

大阪市から住宅改修費給付事業の業務委託を受けて、2023年で7年目になります。現在、介護保険認定高齢者の住宅改修には介護保険制度における住宅改修の利用が可能です。大阪市の事業は、介護保険の対象外で対象者に必要と認められる工事について、工事費を給付するというもので、介護保険住宅改修と同時に工事を行う事が条件になります。「令和3年度 大阪市介護保険事業の現状について」の報告書によると、大阪市の介護認定者数は緩やかに上昇しており、全国に比べると75歳以上の認定者が多く、また、要支援2までの軽度者の認定割合が高い特徴があります。住宅改修の給付実績をみると、業務受託したH29年は11,023件、以降毎年減少しています。高齢者住宅改修費給付事業件数もH29年140件から90件、77件、73件、61件、R4年54件と減少しています。工事内訳は、浅型の浴槽・UB交換、和式便器から洋式

便器の交換、給湯器の交換工事等があります。案件数が減った理由として考えられることに、新型コロナの影響での便器や給湯器の納品遅延、ウッドショック、輸送・運搬費の高騰等の影響も少なからずあるようです。また、一部の施工業者からは、2000年の介護保険制度開始から23年目を迎え、介護保険制度での住宅改修が一巡したとの意見もあります。しかしながら、右グラフのように、住み慣れた自宅で不慮の事故により毎年一万人以上の高齢者の方が亡くなっていて、その数は、交通事故死者数の4倍以上にもなっています。新たに、2023年度から「重度心身障がい者(児)住宅改修費給付事業」の審査業務を受託することになりました。実施要綱の目的は、日常生活上の障がいの除去又は軽減に直接効果のある住宅改修工事の費用を一部給付するというもので、対象となる工事は、住宅の浴室、トイレ、台所、居室等の改修です。

高齢者や障がい者を含めたすべての人たちが、住み慣れた自宅で、最後まで元気に自分らしく暮らし続けるために、まだまだ整備すべき住環境等の課題が残されていると思います。その解決の一助となるよう審査業務に真摯に取り組んでいきたいと思えます。

### 家庭内の不慮の事故死者数



厚生労働省2021年人口動態調査結果

## 建築相談室から(73) 住宅展示場での相談

橋本頼幸(建築相談委員会幹事)

3月号に引き続き今月も住宅展示場(住宅博)で行っている相談についてご紹介いたします。この相談は、アドバンス開発(株)が運営展開する、大阪・京都・滋賀の4会場にあるなんば住宅博、桃山六地藏住宅博・大津びわこ住宅博・彦根ベルロード住宅博で土日に行っています。

どんな家が建ちますか?

「7×10m・70㎡の土地で建ぺい率80%容積率300%でどんな家が建ちますか?」という具体的な相談がありました。ハウスメーカーでもこのような相談は当然対応できるのですが、建築士会が行っているということでメーカー誘導をしない中立の立場でのアドバイスを期待できる、ということから相談されるケースがあります。「中古物件があるが新築で建てるといくらぐらいか?地上2階地下1階。構造未定。2軒目なのででいたいわかる。1軒目はパナホームだったので他のメーカー

にしようか検討中」「現在住んでいる住宅を建て替えまたはリフォームして一部賃貸にしたいと思っている。積水ハウスの中古を買った。」この相談も同じような理由だと思います。また、「学区の関係で天王寺区の土地を探しているが、坪単価が高いため、できる限り上屋の費用を抑えたい。どのメーカーがやすいのか、現在の相場を知りたい。」という相談がありました。この相談については賃貸という手もあるのではないかと、というアドバイスをしています。ハウスメーカーで対応できるかわからない「住んでいる建物の増築を考えている。新築時に建築面積が大きくなって違反建築物になり検査済証がない。現在は容積率に変更があり違反はなくなっているので増築できるのではないかと?手続きはどうしたら良いか?」「賃貸アパートを作りたい。あるメーカーに聞いたがアパートは作ったことが無い

と言われた。どこのメーカーがおすすめか教えて欲しい」「土地を購入するときの注意点を知りたい、立ち会いはできるか?」「昭和58年のRC住宅。水回りリフォームのため専門業者に相談したが、不明な配管があり、判断ができないので、相談に来た」「築30年、2・3階に住んでいて1階は空いている。ゲストルームを作りたい。どんなプランができるのか?」「山梨に移住を考えている。親も亡くなり一人暮らし。土地探しからはじめたい。平屋が希望です。注意点を教えて欲しい。」などといった、ハウスメーカーで対応してくれるのかどうかかわからない、といった相談も多いです。もちろん建築士であれば普通の相談ではありますが、建物の相談窓口として思いついたのが住宅展示場だった、という一般の方も多いのがわかります。建築士会が住宅展示場で展開する相談の役割のひとつに思われます。

# Information

## 建築士会からのお知らせ

### 既存建築物耐震診断等の評価

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞご利用ください。

(業務内容)  
耐震診断報告書の審査、評価  
耐震補強計画書の審査、評価 等  
(対象建築物)  
公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。  
(会員特典)  
申込者又は診断等実施者が本会会員の場合、評価手数料の10%割引があります。

### 既存住宅状況調査技術者講習

新規講習7/12、10/11、1/18  
更新講習6/14、9/13、12/13、3/13  
CPD新規各5単位、更新各2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士のみ認められる業務です。ぜひ本講習で新たな業務の資格を取得してください。なお、2020年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限となりますので、更新講習をご受講ください。

▼新規講習(DVD)  
日時 7/12(水)、10/11(水)、1/18(木)  
9:30~17:00  
会場 大阪府建築士会 東会議室  
定員 30名(定員に達し次第締切)  
受講料 WEB申込21,450円  
郵送申込22,000円

▼更新講習(DVD)  
日時 6/14(水)、9/13(水)、12/13(水)、  
3/13(水) 13:30~16:50  
会場 大阪府建築士会 東会議室  
定員 30名(定員に達し次第締切)  
受講料 WEB申込17,000円  
郵送申込17,600円

▼申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。上記以外にオンライン講習も開催いたします。

### 令和5年度建築士定期講習

6/20、7/27、8/25、9/27、10/19、11/30、  
12/22、1/30、2/6、3/29  
CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は令和2年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

▼対面講義  
日程・会場・定員  
※6/20(火) 大阪YMCA会館 200名  
7/27(木) 大阪YMCA会館 200名  
※8/25(金) 大阪府建築健保会館 90名  
9/27(水) 大阪府建築健保会館 90名  
※10/19(木) 大阪府建築健保会館 90名  
※2/6(火) 大阪YMCA会館 200名

▼DVD講義  
日程・会場・定員  
11/30(木) 大阪府建築健保会館 90名  
※12/22(金) 大阪府建築健保会館 90名  
1/30(火) 大阪府建築健保会館 90名  
3/29(金) 大阪府建築健保会館 90名  
時間 9:15~17:00(各講習日共)  
受講料 12,980円(消費税含。事前振込)  
申込方法

申込用紙を建築技術教育普及センターHPからダウンロードしてください。(令和2年度受講者には、同センターから直接申込書を郵送しています。)

ご記入後、大阪府建築士会事務局又は大阪府建築士事務所協会事務局へ持参していただくか、簡易書留にて郵送してください。

受付場所(送付場所)  
※印の日程 大阪府建築士会事務局  
※印以外の日程 大阪府建築士事務所協会事務局

建築技術教育普及センターHPからWEB申込みも可能です。  
https://jaeictkosyu.jp/jaeicteikikosyu/  
注)各回定員に達し次第、受付を終了します。

### 令和5年度監理技術者講習

(監理技術者以外の方も受講可能)  
7/5、9/7 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講ください。

日程 7/5(水)、9/7(木)  
時間 8:55~17:00  
会場 大阪府建築士会 東会議室  
定員 各回30名(定員に達し次第締切)  
受講料 WEB申込み9,500円  
郵送申込み10,000円  
申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。  
http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html

### 令和5年度 大阪府ヘリテージマネージャースキルアップ講習 第1回

7/15 CPD4単位(予定)

本講習は、ヘリテージマネージャーのさらなるスキルアップを目的に行う講習会です。全6回の講習で保存活用、調査や修復技術などを学びます。

日時 7/15(土) 10:30~ まちあるき  
13:30~16:00 講座

テーマ 「(仮)貝塚で学ぶ大阪府の民家の変遷と地域性」  
江戸時代からの町家建築が多数残されている貝塚寺内町のまちあるきと、貝塚市教育委員会教育部社会教育課参事兼文化財保存活用室長地村邦夫氏に大阪府下の民家の変遷などについて講義していただきます。

会場 まち歩き:貝塚寺内町  
講座:旧吉村(寺西)家住宅  
貝塚市西町12-7  
定員 40名(申込先着順)  
受講料 本会会員及び大阪府ヘリテージマネージャー協議会会員2,500円  
会員外3,500円

### 2023年版会員名簿の掲載事項について

8月号に同封予定の会員名簿につきましては、掲載事項が①氏名、②勤務先名、③勤務先住所・電話番号、④建築士級別(正会員のみ)となっております。つきましては、A.氏名以外(②~④)を掲載しない。B.連絡先が自宅のみのため、③に自宅の連絡先を掲載する。C.氏名を含め一切掲載しない。ホームページの名簿からも削除。のいずれかを希望される場合、6/15(木)までに本会事務局へメールかFaxにてご連絡ください(既にご連絡済の場合は不要です)。

### WEB講習会

「宇宙建築~宇宙開発における建築の可能性~」  
6/5~6/18 CPD3単位(予定)

国の威信をかけて取り組んでいた宇宙開発は今やビジネスとして多くの民間企業が参画する場と変遷し、急速な成長を続けています。建築業界にもその波は押し寄せ、様々な建設企業や建築家が宇宙における建築の可能性に想いを馳せ、その実現に向けてチャレンジを続けています。

本講習会ではその実現に向けてそれぞれの分野で宇宙開発の活動を行っている3人の講師をお招きし、ご自身の宇宙開発を中心とした基調講演とこれからの宇宙建築の可能性を探るパネルディスカッションを開催します。※2021/11/20(土)の講習会を録画したものととなります。

日時 6/5(月)10:00~6/18(日)終日  
会場 Microsoft TeamsによるWEB講習会  
受講料 建築士会会員2,000円

後援団体会員2,500円  
一般4,000円

### BIM連続セミナー

6/9、6/27、7/11 CPD各5単位(予定)

BIM連続セミナーは、BIMの有効活用を体験いただくリアルセミナーです。本セミナーはBIMソフトウェアを提供する3社がそれぞれの日程で、BIM設計における課程をそれぞれのソフトウェアを使用して行う実践型のハンズオントレーニングです。二次元設計を主としている方、3D設計やBIMに興味をお持ちの方、実際にトライしてみたい方、BIM設計を再チャレンジされたい方など、お気軽にご参加いただけます。

- A&A Vectorworks編  
日時 6/9(金) 10:30~17:00  
会場 大阪府建築士会 東会議室  
定員 30名(申込先着順)  
参加費 建築士会会員1,000円  
会員外1,500円
- グラフィソフト Archicad編  
日時 6/27(火) 10:00~17:00  
会場 大阪府建築士会 東会議室  
定員 20名(申込先着順)  
参加費 建築士会会員1,000円  
会員外1,500円
- 福井コンピュータアーキテクト GLOBE編  
日時 7/11(火) 10:30~17:00  
会場 大阪府建築士会 東会議室  
定員 15名(申込先着順)  
参加費 建築士会会員1,000円  
会員外1,500円

### ミライREBORNスマイ プロジェクト -医・食・住でミライの健康な都市生活-

主催 公益社団法人全日本不動産協会  
共催 公益社団法人大阪府建築士会

●募集目的  
本プロジェクトでは、入賞作品の中から3DCG映像等の作品を共創(翻案・制作)し、2025年大阪・関西万博「大阪ヘルスケアパビリオン」での展示・公開を予定しています。

●募集部門・応募資格  
①学生・一般の部  
応募資格はとくになし。大学、大学院修士・博士課程、短期大学、専修学校、高等専門学校・その他の就学者を含む。

②建築家・デザイナーの部  
建築・都市デザイナー、グラフィックデザイナー、ビジュアルアーティストなど幅広いジャンルに属するプロフェッショナルのクリエイター。

●審査委員  
樋口真嗣(審査委員長。映画監督・特技監督)  
赤井孝美(ゲームクリエイター、アニメプロデューサー)  
秋吉浩気(建築家・メタアーキテクト)  
内田友紀(都市デザイナー)  
齋藤精一(クリエイティブディレクター)  
重松象平(建築家)  
中川エリカ(建築家)

INFORMATIONの詳細及び申込みは本会ホームページに掲載しています。

【大阪府建築士会】大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階

http://www.aba-osakafu.or.jp/ メール info@aba-osakafu.or.jp TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

近藤良一(大阪の住まい活性化フォーラム会長)  
豊田崇克(一般社団法人ソフトウェア協会副会長)

●賞・副賞  
最優秀賞

200万円・賞状、トロフィー(1点×2部門=計2点)

優秀賞

50万円・賞状(2点×2部門=計4点)

佳作

30万円・賞状(4点×2部門=計8点)

特別賞

50万円・賞状(部門を問わず全体で2~3点程度)

●募集要項公表 1/12(木)

●応募登録期間 1/12(木)~7/31(月)

●応募受付期間 6/12(月)~8/10(木)

●問い合わせ

公益社団法人大阪府建築士会

メール:mirai.reborn.sumai@aba-osakafu.or.jp

WEB講習会

「スマートシティ~デジタル化社会におけるスマートシティ戦略と最新まちづくりの動向~」

6/19~7/2 CPD3単位(予定)

2021年5月にデジタル改革関連法が成立し、同年9月にはデジタル庁が設置されるなど本格的なデジタル社会への移行が進められています。

今回は行政のデジタル化とスマートシティ戦略の動向について大阪府からの講演に併せ、東京と大阪の最新スマートシティの取組事例を各プロジェクトのご担当者にご紹介いただき、各講師によるパネルディスカッションを開催いたします。

※2022/6/27(月)の講習会を録画したものととなります。

日時 6/19(月)10:00~7/2(日)終日

会場 Microsoft TeamsによるWEB講習会

受講料 建築士会会員2,000円

後援団体会員2,500円

一般4,000円

国際食企画Vol.2「モンゴルの風を感じて」

6/24

ベトナムに続いて今回はモンゴル。モンゴル料理といっても馴染みが薄いかもかもしれませんが、一度食べると病みつきになります。塩味がメインのあっさりとした味付けと羊肉を活かす料理が主になります。これらの調理の紹介とモンゴル茶を味わいつつモンゴルの住まい(ゲル)やライフスタイルを教えてください。

日時 6/24(土) 15:00~17:30(予定)

会場 大阪府建築士会 東会議室

講師 佐藤紀子モンゴル国文化大使

参加費 建築士会会員1,000円

一般1,500円(お茶、お菓子付き)

※閉会後懇親会有り。別途会費とお申込みが必要です。

ヘリテージ委員会

「熊取町歴史的建造物の悉皆調査」  
業務調査員募集

今年度、熊取町より町内の歴史的建造物悉皆調査業務を受注することとなりました。つきましては、調査員を募集いたします。賃金等をお支払い予定ですが、文化庁補助事業としての調査になりますので、金額や支払い時期については、そのルールに則り、熊取町と協議の上のお支払いになります。詳細は後日調査員希望者へあらためてご説明いたします。

調査予定 2023年6月末以降

応募条件 本会正会員かつ大阪府ヘリテージマネージャーであること

募集人数 15~20名程度

募集締切 6/16(金) 17:00まで

応募先 下記、Googleフォームよりご応募をお願いします。

https://forms.gle/23iP9uV3S

xM5zft99

問合せ ヘリテージ委員会事務局

heritage@aba-osakafu.or.jp



建築士の会「大阪市東」新入会員歓迎企画!  
大阪城公園で平和について考えよう

~戦いの記憶に触れるウォーキング~

6/3 CPD2単位

新入会員の皆様を歓迎いたします!大阪城内に残る昭和初期の旧陸軍の建物や砲兵工廠の遺跡などを見て廻り、戦争の爪痕とともに大阪の歴史を感じようという企画です。また、現在修復工事中の大阪城の「石垣」については、設計・監理を担当する設計事務所の所員の方による、説明があります。終着は、設計事務所「シーラカンス アンド アソシエイツ」が建築コンペを勝ち抜いて完成させた大阪国際平和センター「ピースおおさか」。幾何学的で複雑な形の屋根が特徴で、今回は外観のみを見学します。

大阪観光ボランティアガイドによる説明と共に新緑の大阪城界隈をウォーキングし、平和について考えましょう!

日時 6/3(土) 14:00~16:00

集合 大阪城公園京橋口 13:45~受付

定員 20名(申込先着順)

参加費 会員500円 会員外1,000円

新入会員無料(R4年4月~R5年3月入会者)

申込締切 5/26(金)

建築士の会「堺・高石」我がまち再認識

まちなかのキャンパス・ピオトーブ  
身近な生き物発見!!

7/29 CPD1単位(予定)

地域の建築士をはじめ様々な方が集まり、我々のまちの施設を見学する企画で、今回は並木道、水路、池など生き物と人間が共生する空間です。大阪公立大学中百舌鳥キャンパスは多様な生き物が賑わい、自然と人間活動の調和を実感できるまちなかのピオトー

ブ空間です。平井教授から生き物の講義、府大池で自ら生き物を採集し、まちなかの自然を体験します。

日時 7/29(土) 9:30~13:00

会場 大阪公立大学中百舌鳥キャンパス

大阪府堺市中区学園町1番1号

定員 30名(申込先着順)

参加費 1,000円(小学生以下500円、2人目以降無料)

第65回建築士会全国大会  
しずおか大会

10/27

2023年の建築士会全国大会は、静岡で開催致します。大会の詳細は「建築士5月号」をご覧ください。皆さまからのお申込をお待ちしております。

日時 10/27(金) 10:00~

会場 静岡グランシップ

静岡市駿河区東静岡2丁目3-1

テーマ 歴史と文化の継承

~ローカルに生きる~

※10/26(木) 全国建築士フォーラム、全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会を実施。

※10/28(土) 地域交流見学会(エクスカーション)を実施。

申込 「建築士5月号」P39の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、本会事務局にお送りください。

締切 7/14(金)

行政からのお知らせ

大阪府からのお知らせ

「大阪府石綿飛散防止対策セミナー」のご案内

6/28

石綿を使用した建築物等の解体・改造・補修工事においては、発注者と施工者が大気汚染防止法及び府条例に定められた責務を果たし、石綿飛散防止対策を徹底する必要があります。また、石綿は様々な箇所に使用されており、見落としした場合、石綿を飛散させてしまうおそれがあるため、事前の調査が非常に重要になります。

本セミナーでは、発注者及び施工者の皆さまに参考となる石綿飛散防止対策等についてご説明します。是非ご参加ください。

日時 6/28(水) 13:00~16:30

(12:15開場)

場所 大阪市立東成区民センター

2階大ホール

大阪市東成区大今里西3-2-17

(最寄駅:大阪メトロ千日前線・今里筋線「今里」駅2番出口)

内容 (1)大気汚染防止法及び大阪府生活環境の保全等に関する条例について (2)石綿含有建材の概要及びデータ

ベースの活用

一般社団法人JATI協会 技術参与  
浅見塚也

(3)解体・改修等工事に於ける石綿事前調査の課題・問題点

一般社団法人環境科学対策センター

専務理事 脇谷壮太郎

申込 大阪府行政オンラインシステムから  
お願いします。

申込み専用URL

https://lgpos.task-asp.net/cu/270008/ea/residents/procedures/apply/62106881-0433-4f02-bb10-902ec80d8b2e/start

※申込期間は5/29(月)14:00~

6/27(火)14:00

問合せ先 大阪府事業所指導課大気指導

グループ Tel.06-6210-9581

「第36回大阪市ハウジングデザイン賞」の推薦を募集します!

大阪市では、魅力ある良質な都市型集合住宅の供給を促進するとともに、市民の方々や住宅供給に携わる人々に住宅に対する関心を高めていただくことを目的として、昭和62年度から「大阪市ハウジングデザイン賞」を創設し、優れた集合住宅を表彰しております。今年度は下記の通り推薦募集を行いますので、大阪市内のすてきな集合住宅をご推薦ください。

●応募締切 6/20(火)当日消印有効

●対象

大阪市内で建設された「共同住宅」「長屋」「戸建住宅の集合」で、次に該当するもの

1.新築

おおむね過去5年以内(平成30年4月1日以降)に完成したもの

2.既存建物の改造等

おおむね過去5年以内(平成30年4月1日以降)に優れたリフォームやリノベーション等をしたもの

3.維持管理

築20年以上で、良好な維持管理がなされているもの(平成15年3月31日までに完成)

(注)大阪市、大阪市住まい公社及び独立行政法人都市再生機構等の公的団体の

上記1~3それぞれで事業者等である住宅については、対象外となります。

●応募方法 インターネットまたはハガキ

●詳細・応募先

大阪市都市整備局企画部住宅政策課民間住宅助成グループ

https://www.city.osaka.lg.jp/toshiseibi/page/0000590707.html

## 「幻のトンネル」を活用した観光振興の取り組み



柏原市 市民部 にぎわい観光課 課長 川淵良太

### わがまち柏原

柏原市は、大阪府の東端、奈良県との境に位置する人口約67,000人の街です。農業では、ぶどうの栽培が盛んで、夏から秋にかけては多くの農園でぶどう狩りを楽しんでいただくことができます。市内には、国内有数の歴史を誇るワイナリーもあり、柏原市で栽培されたぶどうを使って醸造されたワインやシャンパンは、2019年に開催されたG20大阪サミットで参加各国の首脳にも振る舞われました。産業では、日本の伝統的な染色技法である注染による手ぬぐい等の布製品の製造が現在にも受け継がれています。

また、世界基準の技術力を持つ複数の自転車メーカーが市内で事業を行っており、市でも、自転車の街としてプロモーションを進めていることから、多くの方がスポーツサイクルやEバイクで市内周遊を楽しんでいる姿を見ることが出来ます。



柏原産のワインとぶどう

### 日本遺産認定

#### 「龍田古道・亀の瀬」と「葛城修験」

私たち、にぎわい観光課では、これら柏原市の魅力ある資源について広く発信することで知名度を高め、多くの方に柏原市を訪れていただくために取り組んでおります。

東京2020オリンピックの開催を契機に、全国的に観光振興への機運が高まったことを受け、文化庁により日本各地の文化や歴史を

伝えるストーリーを日本遺産として認定する制度が創設され、現在、全国で104のストーリーが認定を受けています。柏原市でも、「亀の瀬」地区を舞台とした、「龍田古道・亀の瀬」と「葛城修験」の2つのストーリーが日本遺産に認定されています。



亀の瀬 「亀岩」

### 亀の瀬地すべり

この「亀の瀬」地区は、大阪と奈良を結ぶ主要な街道の中心に位置する峡谷地ですが、4万年前から地すべりが繰り返し発生してきた、災害と隣り合わせの地域であり、古代日本人の恐れの特徴でもありました。ひとたび地すべりが発生し、谷間を流れる大和川が土砂に堰き止められてしまえば、やがて奈良盆地は水没し、溜まった水がいずれ堰を破り大阪平野に一気に流れ込む事態となり、その際の経済的な被害は5兆円にも及ぶと試算されています。

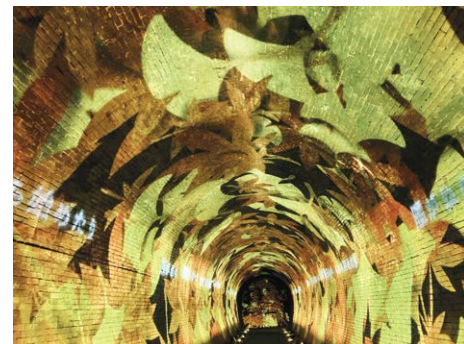
私たちの祖先は、繰り返されるこの地すべりという自然の脅威と向き合い、時に恐れ、時に祈りながら連綿と営みを続けて来ました。近代になって、国土交通省による技術の粋を集めた地すべり対策工事が進められていますが、これまでに約60年の歳月と1,000億円もの費用が投じられています。

柏原市では、この自然災害との長きに亘る対峙の歴史を日本遺産ストーリーとして、広く伝えるための取り組みを進めています。

### 幻のトンネルを活用した

#### 観光振興の取り組み

昭和6年から7年にかけて発生した大規模な地すべりにより、一度は土中に埋もれてしまった旧大阪鉄道亀瀬隧道(亀の瀬トンネル)は、その後の地すべり対策工事が進む中で、平成20年になって当時の姿を残した形で発見されたことで、幻のトンネルと呼ばれています。煉瓦を人の手で積み上げて美しいアーチを描くこのトンネルは、明治25年から鉄道トンネルとして供用されており、天井には当時走っていた蒸気機関車によるススが付着するなど、躍動の痕跡を垣間見ることが出来ます。本年1月からは、このトンネル内約40メートルの壁面に48台ものプロジェクターによるプロジェクションマッピングの上映を行っており、メディアに多数とり上げていただいたこともあり、毎回たくさんの方にご来場をいただいています。映し出される映像も日本遺産ストーリーを色濃く反映しており、この地の歴史・文化への興味を惹かれる内容となっています。大阪・関西万博に向けては、来場された方の満足度を高める取り組みを進め、光と音の芸術をさらに多くの方に体験していただきたいと考えています。



幻のトンネル プロジェクションマッピング



## みんなでつくる 未来へつなげるまち まつばら



松原市 都市整備部 まちづくり推進課 亀山達希

(はじめに)

松原市は、大阪府の中央に位置し、大阪市や堺市、藤井寺市、羽曳野市、八尾市に隣接しています。また、市内には阪神高速道路をはじめ、近畿自動車道や阪和自動車道、西名阪自動車道などが交差するほか、近鉄南大阪線で大阪市内まで約10分と、交通利便性に優れたまちです。

人口約11万7千人、面積約16.6km<sup>2</sup>の平坦なまちで、市政施行当時は田園都市でしたが、高速道路や鉄道などのインフラ整備とともに宅地開発などによる市街化が進み、現在、市街化区域が約13.4km<sup>2</sup>、市街化調整区域が幹線道路沿道を中心に約3.2km<sup>2</sup>となっています。全国的にも少子高齢化や農業への担い手不足などが課題となる中、近年本市においては、生活環境の改善や道路の利便性向上、計画的なまちづくりの推進による緑・景観の保全を目的とした幹線沿道を活用したまちづくりを進めてきました。2021年には、天美東地区におけるまちづくりによって、大型商業施設・セブンパーク天美がオープンし、新たなにぎわいが生まれているところです。以下に、これに続くまちづくりについて紹介します。

(新堂4丁目地区のまちづくり)



本市南部に位置する新堂4丁目地区は、本市を南北に縦断する幹線道路の国道309号及び羽曳野市へつながる市道新堂南線の沿道に位置しており、交通利便性に優れたポテンシャルの高い地区です。また、松原市第4次総合計画において「大規模集客商業施設用地」、松原市新都市計画マスタープランにおいて、「都市型複合拠点地区」に位置付けられています。

当地区は農地が広がる市街化調整区域でしたが、幹線道路沿道の一部で宅地利用があり、今後も沿道部で小規模な開発が行われ

ることによる後背地への影響や、農業の担い手不足により未利用地化が進むことが懸念されていました。子や孫に誇れるまちづくり、にぎわいや地域活性化につながるまちづくりについて、地権者の機運が高まり、2013年度より地権者と共にまちづくり勉強会を始めたことが事業のきっかけでした。その後、2014年12月にまちづくり協議会を設立し、2017年2月には土地区画整理準備組合を設立、市街化区域編入を経て、2018年7月には土地区画整理組合を設立し事業が着手されました。施行区域の面積は約10haで、地区内には区画道路、公園、雨水対策として調整池の整備のほか、地域の生活道路である市道において車道の拡幅や歩道が整備されています。本事業は業務代行方式を採用しており、戸田建設株式会社大阪支店・イオンタウン株式会社共同企業体により事業が実施されました。本市においては、組合が実施する区画道路、公園、調整池などの公共施設の整備への補助金交付や上水道や下水道(汚水)などを市事業として実施することにより支援を行い、本事業を推進しました。

2023年2月に本事業は完了し、現在、2023年秋のオープンに向けて大型商業施設のイオンタウンや本州初出店となる大型ホームセンターのハンズマンの建築が行われています。今後、新たなにぎわいの創出や地域の活性化が期待されています。

(三宅西地区のまちづくり)



本市北部に位置する三宅西地区は、幹線道路である国道309号及び府道住吉八尾線の沿道に位置し、阪神高速大和川線へのアクセスも優れていることから、交通利便性に優れたポテンシャルの高い地区です。

当地区は農地が広がる市街化調整区域でし

たが、交通利便性を活かした地域活性化につながるまちづくりについて、地権者の機運が高まり、2015年度より地権者と共にまちづくり勉強会を始めたことが事業のきっかけでした。その後、2017年12月にまちづくり協議会を設立し、2020年3月には土地区画整理準備組合を設立、市街化区域編入を経て、2022年7月には土地区画整理組合を設立し、今年度より本格的に工事が進められています。

本事業においても業務代行方式を採用しており、清水建設株式会社関西支店により事業が実施されています。本地区におきましても、組合が実施する区画道路をはじめとした公共施設の整備への補助金交付や上水道や下水道(汚水)などを市事業として実施することにより、支援する予定です。

事業の施行区域面積は約12ha、計画期間は2022年度から2026年度までで、清水建設株式会社が運営する大型物流施設などの産業施設の建築が予定されています。今後、地域の活性化が期待されています。

(おわりに)



現在、三宅西地区のまちづくりに続き、本市南部に位置する丹南地区において、事業化検討パートナーである株式会社大林組大阪本店と地権者と共に幹線沿道を活かしたまちづくりを進めており、まちづくりに対する機運が高まっています。

今後につきましても、地域の特性を活かし、地域の発展に寄与するまちづくりを市民協働のもと進めていきたいと考えています。

整備が進む紅葉ヶ丘を再訪して

神奈川県立図書館・音楽堂 一九五四年

文・写真 松隈洋「神奈川県立図書館・音楽堂」

二〇二三年五月一日、あいにくの休館日ではあったが、久方ぶりに、前川國男の手がけた三つの建築、神奈川県立図書館・音楽堂、青少年センター、婦人会館の建つ横浜市西区の紅葉ヶ丘に立ち寄る機会があった。前回は、二〇一六年十一月、ル・コルビュゼの国立西洋美術館の世界遺産登録を記念して企画された図書館主催の「図書館建築の歴史と未来を語り合う」と題する講演会に招かれた際だったもので、七年ぶりとなる。当日は、戦後図

書館の歴史について筆者が概説した後、図書館を中心とする新しい形の複合文化施設を実現させ、この年の日本建築学会作品賞を受賞した武蔵野プレス（二〇一一年）の設計者の川原田康子、比嘉武彦両氏との鼎談や、図書館と青少年センターの見学会など、盛りだくさんの内容となった。また、この日に間に合うように、と依頼されて、研究室の大学院生たちが制作したイラスト入りのパンフレット「知れば知るほど好きになる！神奈川県



東側の前庭から見る音楽堂（右）と図書館



北西側の掃部山公園から見る音楽堂（左）と図書館

立図書館」には、設計趣旨と見どころ、そして、前川の下で設計を担当した鬼頭梓の「みんなに開かれた図書館は民主主義そのものを意味すると思うんだ」という言葉が紹介された。この講演会の終了後、音楽堂の空調設備の改修と外構や庭の整備など、機能性を向上させつつ、より当初の姿に近づけるための大がかりな改善工事が施されていく。また、図書館は、二〇一六年に県の教育委員会が策定した再整備の方針により、新棟の本館が隣地に建設されて二〇二二年に開館し、旧館は、「前川國男館」としての活用が図られることになる。現在は、二〇二六年の開館を目指して実施設計が進行中だ。そして、これらの計画を踏まえての措置なのだろう。二〇二一年、音楽堂と図書館の建物全体が、晴れて神奈川県的重要文化財に指定されたのである。

しを前提とする基本構想策定委員会（團伊玖磨委員長）が発足し、それに合わせて一九九三年一月にまとめられた「音楽堂の歴史の評価に関する報告書」の結論部分は、「死してより新しく優れた命を生み出す」、「音楽堂の死は、日本文化がさらなる発展を試みる一石でありたい」と結ばれていた。この時、音楽堂は竣工から四〇年足らずであり、一九八六年に前川國男が没してからわずか数年後にこのような計画が浮上するとは思わず、その衝撃は大きかった。おりしも、同じく神奈川県戦後復興の象徴として一九五一年に建てられた坂倉準三の神奈川県立近代美術館も存続が取り沙汰され始めていた。そのため、一九九四年二月、音楽堂を愛する音楽家や市民、建築関係者の有志が強い危機感を抱いて急ぎよ結成したのが、「神奈川県立図書館・音楽堂と近代美術館を考える会」だった。この時、建築家として保存運動の中心になっていったのが、林昭男、野沢正光、黒木実の三氏であり、事務局は黒木氏の事務所に置かれ、会合は林氏の古栗の第一工房で夜な夜な重ねられていく。「考える会」の活動は、署名運動や保存要望書の提出に留まらなかった。会の結成からわずか三ヶ月後の一九九四年五月十七日、音楽堂そのものを会場に、「神奈川県立音楽堂を見聞き、語る集い」と題する催しを実施させる。それは、設計担当者の一人の進米廉氏が案内役を務める見学会とシンポジウム、そしてコンサートにより音の響きを楽しんで音楽堂の価値を共有しようというユニークな三部構成だった。コンサートでは、横浜在住のピアニストの山岡優子

（フェリス女子大学教授）氏の呼びかけにより、朝倉蒼生（ソプラノ）、芳野靖夫（バリトン）、水野佐知香（バイオリン）、長谷川陽子（チェロ）ら音楽家による多彩な演奏も行われ、最後は、延べ四時間に及んだこの集いに参加した七五〇人全員の合唱で締めくくられた。取り壊しの危機という崖っぷちの逆風の中で、音楽堂に心を寄せる人たちの思いが結実した感動的な光景だった。実は、その準備中の会合で、みんながこの催しの実現が難しいと諦めかけていたとき、遅れて駆けつけ、「やろうよ、できるよ」と明るく呼びかけたのが、野沢さんだった。もしこの時の一言がなかったら、と後から何度も話題になった。もちろん、これで音楽堂が残ったわけではない。しかし、この集いの成功がなかったら、その後の保存活動を粘り強く続けることはできなかったと思う。結果的に、この集いから二年半後の一九九六年十月二二日、バブル経済の崩壊による財政状況の悪化を前に、一九九五年の選挙で交代した岡崎洋新知事は、建て替え計画の全面撤回を表明し、音楽堂は取り壊しの危機を脱したのである。

今回、現地を訪れると、すっきりと整えられた前庭や奥庭により、竣工当時のような内外空間の伸びやかな広がりや凛とした心地良い緊張感を漂わせており、よくここまで辿り着いたな、との感慨を抱いた。同時に、この建物の保存運動に尽力した人たちの姿が思い出されてならなかった。そこで、前川事務所に在籍していた筆者が目撃した、一九九〇年代の音楽堂が遭遇した危機の顛末を書き留めておきたい。

一九九〇年九月、未曾有のバブル経済の勢いを背景に発案されたに違いない。神奈川県は、「かながわ文化施設二一世紀構想」を策定し、「紅葉ヶ丘文化ゾーンの総合的再編整備の推進」を表明する。これを受けて、一九九二年十月には、音楽堂の取り壊

その野沢正光さんが、四月二七日に急逝された。最新の仕事は、師・大高正人の全日本海員組合本部会館（一九六四年）の保存改修であり、昨年十二月十八日、着工前の見学会とドコモモ選定プレート贈呈式にリモートで発言されたのが公的な場での最後の姿となった。自立した建築家としての矜持と先人たちへの敬意を忘れたかった野沢さんが偲ばれてならない。謹んでご冥福をお祈りしたい。



# STYLIO

CREATING THE NEXT SPACE

住空間を豊かに変える美意識。

軽やかに空間を仕切り、光りや人の気配を感じさせる。  
愛すべきコレクションを並べ、収納そのものを楽しむ。

新しい概念を住空間に取り入れ、上質な暮らしに豊かさが加わる。

ユニオンの価値観を一点一点に込め、  
品質高く、美しく仕上げた「スタイリオ」シリーズ。

スライディングドア、システム収納、クロセットドアなどの  
ラインナップで、空間づくりのこだわりを満たします。



2023 new catalog

最新カタログ『2023 スタイリオカタログ』近日発刊。ご請求は [www.artunion.co.jp](http://www.artunion.co.jp) よりお申し込みください。

本社:〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22 東京支店:〒135-0021 東京都江東区白河2-9-5 tel 03-3630-2811  
fax 03-3630-2816 大阪支店:〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22 tel 06-6532-3731 fax 06-6533-2293  
名古屋営業所:〒454-0805 名古屋市中川区舟戸町3-20 tel 052-363-5221 fax 052-363-5255

**UNION**  
ARTWARE



1階床はコンクリート埋設型温水式床暖房



外壁仕上げは外断熱、通気工法の上ガルバリウム鋼板小波板張り